

2020年12月13日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**  
第63巻第36号(通算3213号)  
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう  
**週報**

教会標語

かみさま つく  
神様が創られたすべての命を  
たいせつ きょうかい  
大切にする教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

谷はすべて埋められ、山と丘はみな低くされる。曲がった道はまっすぐに、  
でこぼこの道は平らになり、人はみな神の救いを見る。(ルカによる福音書3:5-6)



たいこうせつ だい しゅじつれいはい  
**待降節 第3主日礼拝**

《会堂に共に集まる形での礼拝はいたしません、インターネットで中継  
配信しています。それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

ぜん そう もくとう  
前 奏 黙 祷

まね ことば しょ  
招きの詞 イザヤ書

しょう せつ  
7章 14節

さんび か ばん しゅ ま のぞ  
賛美歌 242番「主を待ち望むアドヴェント」(3節) (©JASRAC)

てんとう  
クランツ点灯のことば

てんとうしゃ  
点灯者

せい しょ ふくいんしょ  
聖 書 マタイによる福音書

しょう せつ  
1章 18-23節

いの  
お 祈 り

さんび か ばん  
賛美歌 190番「ヨセフのいいなづけ」(1,2節) (©JASRAC)

きせき こ  
メッセージ 「奇跡の子」

うしだ ただし ぼくし  
牛田 匡 牧師

さんび か ばん ひさ ま  
賛美歌 231番「久しく待ちにし」(1,2節) (©教団讃美歌改訂委員会)

しゅ いの ページ さんしょう  
主の祈り (2頁をご参照ください)

ささげもの  
献 げ 物 (\*)

は けん ばん かみ めぐ う  
派 遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅく ふく  
祝 福

うしだ ただし ぼくし  
牛田 匡 牧師

こう そう ばん  
後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讃美歌委員会)

ほう こく ページ さんしょう  
報 告 (4頁をご参照ください)

\* 「献げ物」は、神様への「感謝と献身」を覚えてお祈りください。

「献金」のご用意のある方は、「クリスマス献金」と合わせて、それぞれの  
身近で今、必要とされている方々のためにお献げください。

招きの詞 <sup>ことば</sup> イザヤ書 7章 14節

それゆえ、主ご自身があなたがたにしるしを与えられる。

見よ、<sup>a</sup>おとめが身ごもって男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶ。

(脚注 a：直訳「若い女性」)

クランツ点灯のことば

神様、今私たちは3本目のろうそくをともしました。あと1本でクリスマスです。クリスマスには、イエス様によって暗闇に光が与えられました。その光と喜びを、みんなで分かち合ってくださいように。

聖書 マタイによる福音書 1章 18-23節

<sup>18</sup> イエス・キリストの<sup>b</sup>誕生の次第はこうであった。母マリアはヨセフと婚約していたが、一緒になる前に、聖霊によって身ごもっていることが分かった。<sup>19</sup> 夫ヨセフは正しい人であったので、マリアのことを表沙汰にするのを望まず、ひそかに離縁しようとした。<sup>20</sup> このように考えていると、主の天使が夢に現れて言った。「ダビデの子ヨセフ、恐れずマリアを妻に迎えなさい。マリアに宿った子は聖霊の働きによるのである。<sup>21</sup> マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである。」<sup>22</sup> このすべてのことが起こったのは、主が預言者を通して言われたことが実現するためであった。

<sup>23</sup> 「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。

その名はインマヌエルと呼ばれる。」

これは、「神は私たちと共におられる」という意味である。

(脚注 b：「誕生」は異本による。別訳「創生」)

主の祈り <sup>しゅいの</sup> (日本聖公会・カトリック教会共同訳)

天におられる <sup>てん</sup> 私 <sup>わたし</sup> たちの <sup>ちち</sup> 父よ、み名 <sup>な</sup> が <sup>せい</sup> 聖とされますように。

み国 <sup>くに</sup> が来 <sup>き</sup> ますように。

みこころ <sup>てん</sup> が天 <sup>おこな</sup> に行 <sup>とお</sup> われる <sup>ち</sup> 通り、地 <sup>おこな</sup> にも行 <sup>ち</sup> われますように。

私 <sup>わたし</sup> たちの <sup>ひ</sup> 日 <sup>かて</sup> ごとの <sup>きょう</sup> 糧 <sup>あた</sup> を、今日 <sup>あ</sup> もお与 <sup>あ</sup> えください。

私 <sup>わたし</sup> たちの <sup>つみ</sup> 罪 <sup>わたし</sup> をおゆる <sup>ひと</sup> してください。私 <sup>わたし</sup> たち <sup>ひと</sup> も人 <sup>ひと</sup> をゆる <sup>ひと</sup> します。

私 <sup>わたし</sup> たち <sup>ゆうわく</sup> を誘惑 <sup>あく</sup> に <sup>すく</sup> おち <sup>すく</sup> いら <sup>すく</sup> せず、悪 <sup>あく</sup> から <sup>すく</sup> お救 <sup>すく</sup> いく <sup>すく</sup> ください。

国 <sup>くに</sup> と力 <sup>ちから</sup> と栄光 <sup>えいこう</sup> は、永遠 <sup>えいえん</sup> にあなた <sup>えいえん</sup> の <sup>えいえん</sup> もの <sup>えいえん</sup> です。

アーメン。

## 《先週のメッセージより》12月6日 待降節第2主日礼拝

メッセージ「どうしてこんな所に生まれたのか」より

牛田匡牧師

聖書：マタイによる福音書 13章 53-58節

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、大阪では「医療非常事態宣言」が出されています。そんなコロナ禍の中、クリスマスを待ち望むアドベントを過ごしているということは、どのような意味があるのでしょうか。

今回の聖書のお話は、イエス様が「ナザレで受け入れられない」という小見出しが付けられている箇所でした。イエス様の生まれ育った故郷のナザレですから、村の人々はイエス様の知恵と力に驚きつつも、その幼少期もまた家族もよく知っていたために信頼することが出来なかった、という人々の不信仰の話として読めます。ですが、本当にそうでしょうか。この話からはむしろ、イエス様が故郷で差別されていたということが分かります。「大工」という訳も、原義は「木挽(こび)き・石切り」であり、イエス様自身が日々に「日雇い仕事」に従事していたと考えれば、高級品であった木材の木工職人というよりは、石のブロックを作っていた石工職人と考える方がふさわしいように思います。そしてそれは人々から忌避されていた仕事でした。また当時は父親の名前を出して「〇〇の息子」と表わすのが通例だったにもかかわらず、「大工の息子で、母親はマリア」と記されています。それはイエス様の生まれが普通じゃない、と周囲から見られていたということです。何故なら、マリアはヨセフと結婚をする前からイエス様を身ごもったからであり、周囲からはヨセフともども奇異の目で眺められ、差別されていました。

「どうしてこんな所に生まれたのか」。現代でもなお、この問いを生涯問い続けている被差別の方々はおられます。また今日で言えば「どうしてコロナになったのか」「どうしてこんな不幸、苦難に遭うのか」という問いも同じでしょう。そしてそれはイエス様についてもまた同様でした。クリスマスに生まれた神の子、救い主は、どうしてこんな所に生まれたのか……。その答えは一つではありません。毎年迎えるクリスマス、毎年読み返すクリスマス物語を通して、私たちは救い主、神の子の誕生物語と、毎回出会い直します。イエス様はどうして差別され虐げられた存在として生まれたのか。

神様は全ての所にいつでもおられると共に、弱く小さくされている人たちを優先して選ばれるお方です。私たちはそこに連なっているのでしょうか。コロナ禍で迎えるクリスマス、私たちは今どこに誰と共にいるのか。飼葉桶の中に眠るイエス様と、どこで出会おうとしているのか。神様に導かれながら、このアドベントの時期を過ごしていきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (12月6日)

礼拝出席 大人5名 献金 大人4,000円 感謝

◎次週 2020年12月20日(日) クリスマス礼拝

招きの詞 イザヤ書 9章 1,5-6節

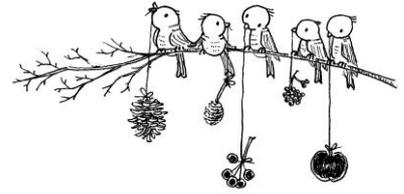
聖書 ルカによる福音書 2章 1-20節

メッセージ「カナリアたちのクリスマス」牛田匡牧師

賛美歌 21-242番 (©JASRAC) 新生 180番 (©バブ連) 21-267番 (©P.D.)

礼拝の中でユーカリスト(聖餐式)を行う予定です。また礼拝はインターネットで中継配信いたします。なお新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、例年クリスマス礼拝後に行っておりました「祝会・愛餐会(昼食会)」は行いません。

教会堂に皆が集まる形での礼拝を予定しておりますが、会堂に集まることは休止して、インターネットでの中継配信のみになる場合があります。詳細は、教会掲示板、ホームページ、Facebook、LINE公式アカウント等で連絡いたします。



◎お知らせ

- ・本日は、特別養護老人ホーム「第二好意の庭」(柏原市)のクリスマス礼拝のために、教会堂に集まる形での礼拝は休止し、インターネットによる配信のみとなりました。第二好意の庭では例年は、入居者の家族の方々も一緒にクリスマス礼拝と祝会を行っていますが、今年は新型コロナウイルス感染症の感染予防対策のために、入居者の方と職員とで、礼拝と昼食会を行います。
- ・昨日、久宝まぶねこども園にて4・5歳児クリスマス礼拝が3部制で行われました。
- ・本日、大阪教区「准允式・按手礼」が、コロナ対策として出席人数を制限する形で、東梅田教会(15時～)と天満教会(17時～)にて行われます。
- ・新型コロナウイルス感染拡大のため、教会堂に共に集まって礼拝する形にこだわらずに、インターネットの中継配信を利用した在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝に参加ください。教会では、朝の検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあけた着席をお願いいたします。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードして頂くことができます。またご希望の方にはそれらをご自宅までお届けいたします。
- ・「クリスマス献金」を次週20日まで集めています。献金先は、昨年度から引き続き以下の6団体です。「関西学院大学神学部」「日本基督教団開拓伝道支援」「キリスト教在日韓国朝鮮人問題活動センター」「日本基督教団部落解放センター」「一般社団法人・神戸国際支援機構」「釜ヶ崎・いこい食堂(おにぎり基金)」。

◎ 次週以降の行事予定

	会場	メッセージ	行事
12/20	久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)	牛田牧師	クリスマス礼拝・聖餐式
12/27		牛田牧師	(歳末礼拝)・誕生者祝福式
1/3		牛田牧師	(新年礼拝)・聖餐式・教会を考える会?
1/10		水谷牧師?	

ここに教会があります  
~ Merry Christmas! ~



【クリスマス礼拝 on Webのご案内】

2020年12月20日(日) 10:30~11:30

ウェブサイトにて無料中継配信(申込・登録不要)

創立61周年を迎え、「久宝まぶねこども園」に隣接して建った新しい会堂で、初めて迎えるクリスマスです。どなたでもご視聴頂けます。どこからでも、ご一緒にお祝いしましょう。ホームページ



日本キリスト教団 久宝教会

八尾市久宝寺 6-7-10

電話 (072) 992-2131

(久宝まぶねこども園・南側)

すべての命を愛される神様からの祝福が豊かにありますように